教科・科目	家庭・ファッション造形基礎	単位数	3単位	学年・学級	3年Ⅲ群
使用教科書	ファッション造形基礎（実教出版）	副教材	新図説家庭基礎（実教出版）		

学校教育目標	郷土を愛し たくましく生きよう 自ら学ぶ意欲を持ち続けよう					
育成を目指す資質・能力	傾聴力	○	協働力		議論する力	
	自省力		理解力	○	批判力	
	自己実現力	◎	表現力	◎	情報活用力	
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 和服や洋服の起源や特徴、違いを理解する。 基礎的・基本的な裁縫技術を身につけ、被服製作の知識と技術向上を図る。 様々な被服製作を通し、製作の楽しさを感じ、生活に進んで取り入れる技術と能力を培う。 全員が被服製作検定4級を受験し、被服の知識と技術の向上に努める。 					
学習への取り組み方	<ul style="list-style-type: none"> 作品は、自宅持ち帰りや授業以外での作業は評価対象外とする。 授業時間内の作業については教師や周囲への質問や補助は認めるが、私語等で作業に支障をきたすことのないようにする。 期日までの提出が難しい場合、昼休み、放課後等での補習が実施されるため、自己管理を行うこと。 実習費11,000円徴収し、授業内で被服技術検定4級を受検します。 (費用は実習費でまかないます。) また、和服製作の実施、和服の試着を実施します。ない場合は、別途徴収で浴衣用帯を購入することができます。 裁縫道具の用意をお願いします。無い道具に関しては別途相談とします。 プリント保管用A4ファイルを1冊用意すること。 					

評価の観点

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
A 使える	授業の意義や目的を理解し、積極的に参加している。	目的にあったデザインや個性を活かした工夫が作品製作に活かされている。	基本的な縫製技術を活かして、作品を仕上げる技術や創意工夫ができる。	基礎的・基本的な知識や深い理解ができている。
B わかる	授業に積極的に取り組んでいる。	目的にあったデザインや個性を活かした作品製作となるように考えられている。	基本的な縫製技術を活かして、作品を仕上げる技術が身につけている。	基礎的・基本的な知識が理解できている。
C できる	授業への取り組みに積極性が欠けている。	目的にあったデザインや個性を活かした作品製作が不十分である。	基本的な縫製技術を活かして、作品を仕上げる技術が不十分である。	基礎的・基本的な知識の理解が不十分である。
D	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。	A、B、Cいずれにも該当しない。
具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> 指示や活動目標に対して真摯に取り組む姿勢 自身の課題を見つけ改善していく姿勢 時間を守る行動 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の制作に関して意欲的に工夫改善して努力・行動 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な制作を行う 規定通りに制作する 	<ul style="list-style-type: none"> 予習・復習を行う
評価基準	(20点) A: 14点 ~ 25点 B: 9点 ~ 13点 C: 1点 ~ 8点	(20点) A: 14点 ~ 25点 B: 9点 ~ 13点 C: 1点 ~ 8点	(40点) A: 32点 ~ 40点 B: 13点 ~ 31点 C: 1点 ~ 12点	(20点) A: 16点 ~ 20点 B: 7点 ~ 15点 C: 1点 ~ 6点
	何で評価するか <ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢・態度 プリント 	何で評価するか <ul style="list-style-type: none"> 制作の工夫・改善 レポート 	何で評価するか <ul style="list-style-type: none"> 制作技術 作品提出 	何で評価するか <ul style="list-style-type: none"> 被服検定 その他の実技試験

【学習計画】

月	単元	学習の目標【評価の観点：評価方法】	自己評価	実際評価
4	2章 衣服素材	<ul style="list-style-type: none"> ☞前期の目標 		
5		<ul style="list-style-type: none"> ・着心地のよい衣服をつくるためには、人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆりみ、性別や年齢による体型の変化等を考慮しなければならないことを理解する。【②、③：プリント】 ・衣服素材の種類やその特徴を理解することができる。 →織物製作（平織り、綾織り、斜文織り） 【①～③：レポート、作品提出】 		
6	【被服技術検定】	<ul style="list-style-type: none"> ・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。 →基礎縫い（刺し子ふきん、刺繍） 【①～③：作品提出、レポート】 ・実技試験練習や検定に取り組むことができる。 【①～④：検定対策の取り組み・被服技術検定模擬試験実施】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ☞振り返り【①：前期中間までの授業】 		
	1章 衣服の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の計測の仕方を学び、被服製作時の採寸ができる。 ・縫製について、基本の縫い方を知り、縫うことができる。 【①、②：プリント、作品製作】 		
7		<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成衣服と平面構成衣服の特徴を理解し、被服製作に必要な構成を選択することができる。【①、③：プリント、作品製作】 		
8	3章 洋服の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服製作の作品を選択し、基本的な被服技術を身につけ、作品を完成することができる。【①～④：作品製作】 		
9		<ul style="list-style-type: none"> ☞振り返り【①：前期期末までの授業】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ☞後期の目標 		
10 11 12	4章 和服の製作	<ul style="list-style-type: none"> ☞振り返り【①：後期中間までの授業】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・和服製作の作品を選択し、基本的な被服技術を身につけ、作品を完成することができる。【①～④：和服製作】 ・完成した和服の作品の着装を正しくできる。 【③、④：着装、作品提出、レポート】 		
1	手芸作品製作	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸作品を選択し、基本的な被服技術を生かし、必要に応じてアレンジし、作品を完成することができる。 【①～④：プリント、作品製作】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ☞振り返り【①：学年末までの授業】 		

☞最終評価（自己評価／実際評価）

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解